

城東小学校の現状及び改築に至る経緯について

1 現 状

(別紙 学校要覧による。)

2 経 緯

丸亀市学校施設長寿命化計画に基づき長寿命化改修を行う予定であったが平成 16 年の台風 23 号で校舎やグラウンドが冠水したこともあり城東小学校の住民を中心として防災面から学校機能の充実を求める要望が寄せられた。また、長寿命化改修に先立ち建物の耐力度調査により危険建物に該当するという結果もあり、城東小学校長寿命化改修を改め、校舎と体育館の全面改築することになった。

3 耐力度調査の結果について

鉄筋コンクリート造の建物で耐力度点数(10,000点満点)が4,500点以下になった建物が危険建物とされる。結果としては、調査対象建物8棟のうち6棟が4,500点以下となり、危険建物に該当すると判定された。

4,500点を上回る結果となった棟はいずれも増築された建物である。

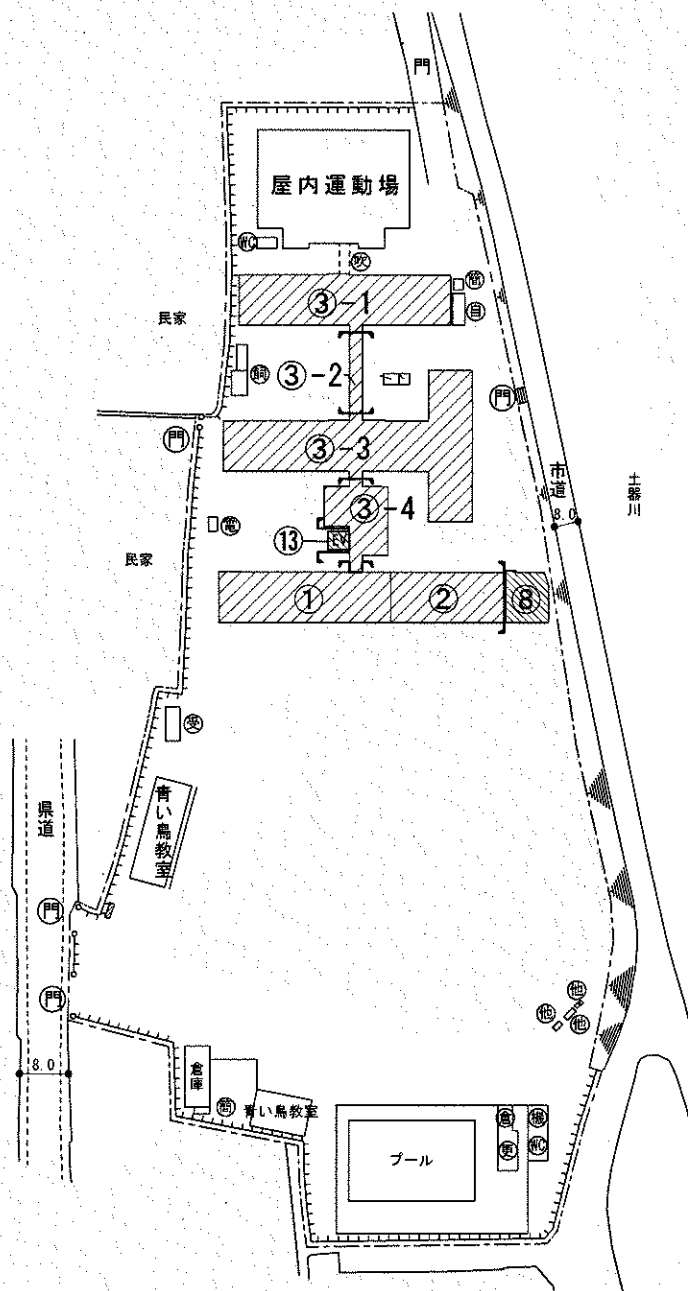
4 長寿命化改修から改築に変更した理由

- ① 耐力度調査により危険建物に該当する点数が出た。
- ② 城東小学校区の住民を中心として、防災面からの学校機能の充実を求める改築の要望の声が上がり、防災拠点性を重視し検討を行った。
 - ・校舎の浸水を防止する建物構造にするためには、改築によりかさ上げする必要がある。
 - ・屋内運動場については、現在の学級数に対する必要面積 1,215 m²に比べて 655 m²と大幅に基準を満たしておらず、城東小学校校区の人口規模に応じた避難所としての機能強化も併せて考慮すると基準を満たした屋内運動場を建設する必要がある。
- ③ ①②を考慮すると、城東小学校については、校舎と屋内運動場を併せて再配置することが望ましく、いずれも長寿命化改修ではなく改築をする必要がある。

城東小学校校舎耐力度調査

耐力度点数

① ②	南校舎普通教室棟	3,924点
③-1	北校舎特別教室棟	3,904点
③-2	廊下棟	3,669点
③-3	普通教室、管理棟	4,164点
③-4	廊下棟	4,277点
⑧	南校舎普通教室棟	5,198点
⑬	E V棟	8,372点



城東小学校配置図